

令和元年

7 月号

No.597

# 法音

今月の  
ご法話

人の心に火を点す

日蓮宗  
法音寺



# 知恩報恩

## 感謝と親切

今日一日、  
受けた恩に感謝しましょう。  
恩を忘れぬ人は信頼されます。  
今日一日、  
人に親切にしましょう。  
人が喜び、自分もうれしい。  
仏の教えは  
知恩報恩の人となることです。

## 月刊・法音

令和元年七月号「597」

■目次

【信仰の指針】熱誠ねつせい 懸命に徳を累ねていますか

1

【朝のこない夜はない】

人の心に火を点す

山首 鈴木正修

2

【特集】知恩報恩 令和元年 御開山会

15

■講日のご案内

■有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

41

■今日一日をよくしよう

44

■まんが・ほうろく加持・虫封じ祈禱

45

■ほうろく加持・虫封じ祈禱のご案内

53

■とこのほの記 色心二法

54

■支院だより

58

■福祉のひろば

65

○はぐくみ・ふれあい・よりそい

66

○昭徳会・新たな地域交流のカタチ

72

○【特別寄稿】日本福祉大学付属高等学校

74

■新入生、「建学の精神」を学ぶ

88

■幸せの種まき／編集後記

89

■連載まんが・ひまわり・78 懸命に生きる

88

■書籍のご紹介

88

■法音寺の社会福祉・教育事業

88

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま 書

表紙写真・あじさい

掲載写真 表紙・信仰の指針・3頁・14頁・41頁…梅田雅臣氏撮影

2頁・15頁・40頁・53頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

熱誠

ねっ

せい

懸命に徳を累ねて

かさ

いますか

日教五



レモンの花



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

# 人の心に火を点す

論語に「子貢問ひて曰く、一言にして以て終身之を行ふ可き者有りやと。子曰く、其れ恕か。己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ」とあります。

『法音』3月号で紹介した脳神経解剖学の権威で元京都大学総長の故・平澤興先生はこの一節が大変お好きで、著作や講演によく引用されています。以下、平澤先生の解釈です。

「子貢は聞いた。『先生、たった一語で、一生それを守っておれば間違いのない人生が送れる、そういう言葉がありますか』。孔子は『それは恕かな』と答える。孔子が『それは恕なり』と断定せず、恕か」と曖昧に答え



たところ、なんとも味わい深い孔子の人柄を感じる。

自分がされたくないことは人にしてはならない。それが怒だと孔子は説いた。つまりは思いやりということである。他を受け容れ、認め、許し、その気持ちを思いやる。自分のことと同じように人のことを考える。そのことこそ、人生で一番大切なことだと孔子は教えたのである」

平澤先生は教育における「怒」「思いやり」とは、ほめることであるとされています。

「教育の現場では思いやりとは何か。ほめることである。これが非常に大事である。絶対に人間はほめなければいけない。ほめられることによって人間は成長する。教育の基本の第一はあくまでほめること。第二はできるまでやらせること。第三は自分もそれを実行すること。これは人間が歩きだすときの姿である」

考えてみれば赤ちゃんや初めて歩き出した時、どの親



もほめます。「あんまり上手じゃないな」と言うような親はいません。必ずほめます。どんな歩き方でもほめます。転んでも、ひっくり返ってもほめます。

そして、できるまでやらせます。赤ちゃんが歩き出して転んで、「もう歩かなくてもいい」と言う親はいません。歩けるようになるまで辛抱強く見守ります。そして、お父さんもお母さんも一緒に歩きます。歩きながら手をたたいて導いたりします。これが教育の原点であり、すべてなのかもしれません。

また平澤先生は「教育とはほめて、励まして生徒の心に火をつけることだ。火をつけて燃やすことだ」と言われています。そして「火をつけるためには、こちらが燃えるような情熱を持っていなければいけない」とも言われています。

近年、ノーベル賞というと地元の名古屋大学の関係者



も多いですが、平澤先生の時代は京都大学出身の受賞者が目立っていました。その理由をよく世間では、京大の個性を尊ぶ自由な校風によるところが大きいのではないかと言われています。受賞者第一号の湯川秀樹博士や第二号の朝永振一郎博士に関して平澤先生は、「それもあるが、何と言っても三高（※）の物理の先生で森総之助というすばらしい人がおられて、二人を教えられたのが良かった」と言われます。

湯川博士を例にとると、湯川博士は頭の回転の早いタイプではなく、わかるまで徹底的に考え抜く、限らない深さを持った人だったそうです。ある時、湯川博士は三日も四日も考えて、森先生のところに「どうも先生の言われることがわかったようで、わかりません、もう少し教えてください」と尋ねて行きました。普通の先生だと「湯川、高校生はそんなところまで考えんでもいい」と



言うところを、森先生は「そうか湯川、お前はそこまで考えたか。大したもんだぞ。それは今世界の物理学界で問題になっているところだ。そこまで考えるところは偉いなあ。お前はわしよりも偉いぞ」と、お世辞ではなく、心の底から感心し、さらに話を進め、学問に対する情熱を吹きこみ、心に火をつけたというのです。

朝永博士に対して同じ態度だったそうです。

平澤先生はさらに言われます。「ほめるとき、ただ表だけを見ておるようなほめ方はだめなのです。ほめ方も裏まで見えるような人でないと、本当のほめ方ができないのです。ほめるには、こちらがそれだけの行いをしていなければなりません。ほめるのはそう簡単なことではないのです。人の欠点が目につく間はまだまだめです。それらの欠点が飾りに見えるようになれば本物だと思いません」



平澤先生が結婚式に招待された時の話です。仲人である大学の名誉教授が新郎のことを「非常に良くできる方だ。しかし、少し要領が悪いような、堅すぎるようなところがある」と言いました。それに対して平澤先生は「それは違う」と感じ、スピーチの順番が回っていると、それまで考えていた話を変えて、「実は今日、新郎と初めてお会いしたが、まず、自分の顔を持っておられることをうれしく思いました。要領が悪いというようなお話もあつたが、いかにも、私の若い時のことを言われているような気がしました。私は四十年間、筋運動の研究をやってきたので、笑っておつても、怒っておつても、その人の本来の表情がよくわかります。その点、今日の新郎はいかにもすばらしく、私は心を打たれました。それは四十年間、運動神経を研究してきた私が見てのことだから、人相見よりもっと確かです。要領が悪いかもしれ



んが、これこそが本物であるということの証拠であって、そこにあなたの魅力があるのです。それはあなたのすばらしさの証拠であり、決して賢い人の真似をしたり、要領の良さなんて身につけることはない。あなたの要領の悪さこそが、あなたの生真面目な生の姿なんだから、それを成長させなさい。自分というものを欺かないで、あくまでもそれを成長させなさい。あなたの将来は私が保証します」と新郎をほめ称えたのです。

みんな、目を丸くして聞いていたそうです。なかでも、仲人さんは驚かれたことと思います。しかし、新郎の両親はとても喜ばれたようです。

スピーチの中にもあるように、このほめ様には平澤先生の若い頃の体験があるのです。

平澤先生が新潟から京都に出てきて中学校に入学した時、当てられてうまく答えられないのは自分だけで、落



第<sup>だい</sup>するかと思<sup>おも</sup>って一生<sup>いっしょう</sup>懸命<sup>けんめい</sup>に勉強<sup>べんきょう</sup>したら、一年<sup>ねん</sup>の一学期<sup>がっき</sup>に五番<sup>ばん</sup>という通知<sup>つうち</sup>がきました。間違<sup>まちが</sup>いではないかと、藤<sup>ふじ</sup>川直人<sup>かななおと</sup>という先生<sup>せんせい</sup>のところへ行<sup>い</sup>くと、「いや間違<sup>まちが</sup>いではない。わしはもっと良い点<sup>てん</sup>をつけたいと思<sup>おも</sup>うくらいだ」と言<sup>い</sup>って、藤川<sup>ふじかわ</sup>先生<sup>せんせい</sup>は平澤<sup>ひらさわ</sup>先生<sup>せんせい</sup>を激励<sup>げきれい</sup>し、さらに「お前は要領<sup>ようりょう</sup>は悪い<sup>わる</sup>が、実<sup>じつ</sup>に真面目<sup>まじめ</sup>で、先生<sup>せんせい</sup>はお前<sup>まえ</sup>が大好き<sup>だいじ</sup>だ」と言<sup>い</sup>ったのです。

晩年<sup>ばんねん</sup>になつて平澤<sup>ひらさわ</sup>先生<sup>せんせい</sup>は語<sup>かた</sup>っておられます。

「いまだに、私<sup>わたし</sup>はその時<sup>とき</sup>の感激<sup>かんげき</sup>を忘<sup>わす</sup>れることができませ<sup>な</sup>ん。実<sup>じつ</sup>に先生<sup>せんせい</sup>のひと言<sup>こと</sup>こそは、時<sup>とき</sup>に人生<sup>じんせい</sup>を支配<sup>しはい</sup>するとい<sup>い</sup>うことを今<sup>いま</sup>にして思<sup>おも</sup>います。自分<sup>じぶん</sup>は頭<sup>あたま</sup>が悪い<sup>わる</sup>し鈍物<sup>どんぶつ</sup>だが、しかし、ゞとにかくやればできるんだゞという感動<sup>かんどう</sup>が、私<sup>わたし</sup>の生涯<sup>しょうがい</sup>の一つの契機<sup>けいき</sup>になつたと思<sup>おも</sup>います」

平澤<sup>ひらさわ</sup>先生<sup>せんせい</sup>が京大<sup>きやうだい</sup>の総長<sup>そうちやう</sup>に決<sup>き</sup>まつた時<sup>とき</sup>、その中学<sup>ちゅうがく</sup>の校長<sup>ちやうちやう</sup>だつた中山<sup>なかつまや</sup>再次<sup>またさい</sup>郎<sup>らう</sup>先生<sup>せんせい</sup>のところへ「先生<sup>せんせい</sup>、えらいこ



とになりました」と報告に行くくと、中山先生が「おう、えらいことになったなあ。でも、平澤、心配するな。中学の時の通りにやれ。うまくやろうなどと思うな」と言われ、平澤先生は安心して、とにかく、くそ真面目な田舎者として頑張られたそうです。

くそ真面目、すなわち「誠実」は、生涯を貫いて平澤先生が大事にされたものです。

「私は人間が真に事を成すにはただ秀才、鈍才というよ  
うな能力だけではなく、むしろそれよりも大事なものが  
あるのではないかと思えます。それは人柄です。その人  
柄のうちでも、何が一番大事かという点、どうも誠実と  
いうことかと思えます。『誠実ということだけではいか  
んよ。そう簡単ではないよ』と言われる方もいますが、  
大局的に長い目で見ますと、やはり、誠実な人柄が最も  
伸びるのです。誠実というのは情熱と努力と言い換えて



も良いです。偉大な仕事を成しとげるのに最も必要なものは必ずしも才ではなく、多くの場合、情熱と努力です」  
平澤先生は生涯情熱の炎を燃やし続けられました。が、その心に大いなる火をつけたのは入学時の京都帝国大学総長、荒木寅三郎先生でした。

明治24年、ベルリン滞在中の北里柴三郎博士を一人の青年が訪ねてきました。ストラスブルグ大学留学中の医学生・荒木寅三郎先生です。その時、北里博士は38歳、荒木先生は25歳でした。北里博士はこの時既にコッホのもとで研究に打ち込み、当時誰も成し得なかった破傷菌の純粹培養に成功。さらに破傷風に対する血清療法を確立し、「世界の北里」と評価される存在になっていました。その北里博士を一学究が訪ねたのです。悩める荒木先生に北里博士は言われました。  
「君、人に熱と誠があれば、何事でも達成できるよ。」



く世の中が行き詰まったという人があるが、これは大いなる誤解である。世の中は決して行き詰まらぬ。もし行き詰まったものがあるなら、それは熱と誠がないからである。つまり行き詰まりは本人自身で、世の中は決して行き詰まるものではない」

これはさまざまに困難と闘いながら自ら一道を切り拓いてきた北里博士の信念の言葉であったと思います。

この言葉が若き一学究の心に火をつけ、その火は荒木先生の生涯にわたって燃え続け、平澤先生へと燃え移ったのです。

「大正9年9月10日、それは私にとって生涯忘れえない、京都大学への入学式の日である。忘れえないのは、大学の大きさでも、講堂のすばらしさでもなく、総長荒木寅三郎先生の熱と誠に満ちた新入生に対する訓辞であった。総長の口から出る一語一語は、まさに燃えていた。先生



は学徒にとり最も重要なものとして誠実、情熱、努力、謙虚を挙げられ、これらについて、それぞれ自らの体験と史上の実例などをもってくわしく説明され、我々は催眠術にでもかかったように全身全霊でこれを受けとめた。この訓辞は私にとって決して遠い過去のものではなく、私はさらにこれを私のからだであたため、私自身の経験をも加え、その肉づけを続けて今日に至った。言わば、この訓辞は、生涯私とともにあって私を導いてくれたのである」

すばらしい話です。私達も三徳の実行に情熱の炎を燃やし、縁ある人々の心に火を点すようにしなければとあらためて思います。

※三高（旧制第三高等学校）

京都市および岡山市に所在した旧制高等学校で現在の京都大学総合人間学部および岡山大学医学部の前身。





知恩報恩

令和元年

御開山会

美しい調和の時代を実現するために  
法華経・三徳を実行しましょう



# 仏教タイムスに御開山会の様子が掲載されました

## 山寺 三徳開教11年 御開山会 乗音 大法 「調和」意識し実行呼びかけ

名古屋昭和区の日蓮 師に感謝し、宗大乘山法音寺（鈴木正修山首）で2日、御開山会が執り行われた。全国から約1500人が参拝し、慈悲・至誠・堪忍の三徳布教に尽くした4先

法要に先立ち、法音寺のルートである仏教化救済会を創設した始祖・杉山辰子（広官院殿安立大法尼）、二祖・村上齋（弘教院殿 令和と聖徳太子の「和宗玄大徳」、法音寺開山）について述べる鈴木山首



鈴木修学（泰山院日蓮上人）、同二世・鈴木宗音（顕修院日蓮上人）、4師の教えと、外郭組織である日本福祉大学および社会福祉法人「昭徳会」の関係を紹介する映像を放映。先代の宗音山首のお題目シーンには、信徒らも一緒にお題目を唱え手を合わせた。全国40力所にある支院や布教所の僧侶が出仕し、鈴木正修山首を導師に法要を勤修。信徒らも共に法華経如来寿量品、同神力品を唱和した。最後に、山首が法華経を手

に「よく法華経を持つや否や、よく三徳を持つや否や」と先唱すると、信徒一同は「よく持つ、南無妙法蓮華経」と力強く応答した。

続いて山首が挨拶。開口一番「今日は令和最初の御開山会」と述べ、「音の響きがとてもいい」と新元号を歓迎した。英訳では「ビューティフル・ハーモニー（美しい調和）」と表現されたと紹介し、「聖徳太子が604年、推古天皇12年に十七条憲法を発布される。その第一条が『和を以て貴しと為す』。太子は、人

と人との調和こそが国家の基（もと）になるとされた。その中で『驚く三宝を敬いなさい』として、法華経を実行することが調和をもたらすとされた」と解説。そして「令和時代となり、美しい調和を意識し、聖徳太子に倣って調和実現のために法華経の実行、三徳の実行をよろしくお願ひします」と呼びかけた。なお法音寺は昭和22年（1947）に前身である日蓮宗昭徳教会として始まり、同25年（1950）に大乘山法音寺を公称。明年は寺号称70周年となる。

【週刊仏教タイムス 2019年（令和元年）6月6日掲載】

良い教えの話聞きましよう。

全国の法音寺各支院・布教所では

毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき、

教えを心にしみ込ませましよう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

岐阜支院	7月4日(木)	郡上八幡支院	7月8日(月)
三原支院	7月14日(日)	東京支院	7月20日(土)
大阪支院	7月28日(日)		

# 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-20069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	7日・14日・20日・27日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-13	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ☎連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・14日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・12日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・28日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・22日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	6日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	14日・23日・28日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	20日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	7日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	13日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	7日・9日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・21日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	14日・28日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	6日・21日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	13日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	7日・15日・21日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	28日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	14日・28日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・21日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・14日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	8日・28日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

# 今日一日をよくしよう

今日一日、奉仕の心掛けで働こう

今日一日、人を喜ばせるように働こう

今日一日、人を恵む心掛けで働こう

今日一日、怒らず暮らそう

今日一日、貪欲をしないで暮らそう

今日一日、感謝で暮らそう

意義ある生涯をおくるには

今日唯今を意義あらしめよ

御開山上人御遺訓集『おりにふれて』より



ほろく<sup>か</sup>加持<sup>じ</sup>

むし<sup>む</sup>し<sup>し</sup>ふう<sup>ふう</sup>・<sup>き</sup>封じ<sup>と</sup>祈<sup>とう</sup>禱





妙法蓮華經  
序品第一

妙法蓮華經  
序品第一



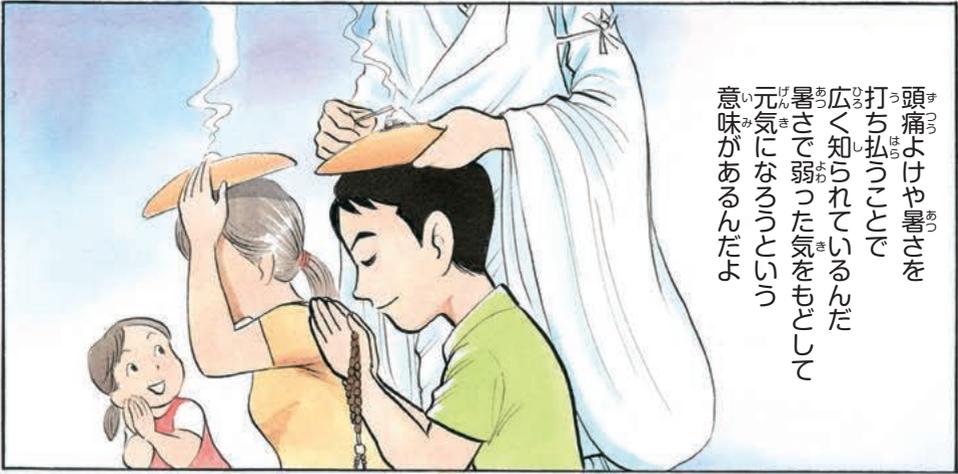
お上人さま！  
皆さん  
何を  
して  
いらっ  
しゃる  
の  
です  
か？

ほろく  
加持  
といっ  
てな



夏を  
乗り  
切る  
元氣  
をい  
ただ  
く  
ご祈  
禱じ  
ゃよ

「ほろく」とい  
う  
素焼  
きの  
皿を  
頭に  
のせ  
その  
上だ  
もぐ  
れど  
お灸  
を据  
えて  
無病  
息災  
を祈  
願す  
るの  
じゃ



頭痛よけや暑さを  
打ち払うことで  
広く知られているんだ  
暑さで弱った気をもどして  
元気になるという  
意味があるんだよ



昔、  
戦の中炎天下で  
暑さ負けしていた  
武將がいたんだがな…

おい  
しっかり  
してくだされ

無理もない  
この暑さじゃ…



それは  
なんじゃ  
なにを  
してある!?

お灸です

え〜!  
兜の上から  
か?

はい  
拙者も  
この通り!

このように元気をとりもどした…  
というのが  
由来だといわれているんじゃ

江戸時代になると  
庶民の間では  
夏の土用の時期に  
灸を据えようと  
良く効くと  
信じられていたんじゃ



ほろろくを頭にのせ  
その上でもぐさが燃え尽きるまで  
無病息災など  
仏の加護を祈ったのだ



現在でもああやって  
ほろろく加持を  
受けているんじゃよ

伝統的な行事  
なんですね



またもぐさのお灸で  
頭頂部の「百会」というツボを刺激し  
脳の活性化をはかるとともに  
夏バテストレス解消などの  
効果が期待できるそうじゃ

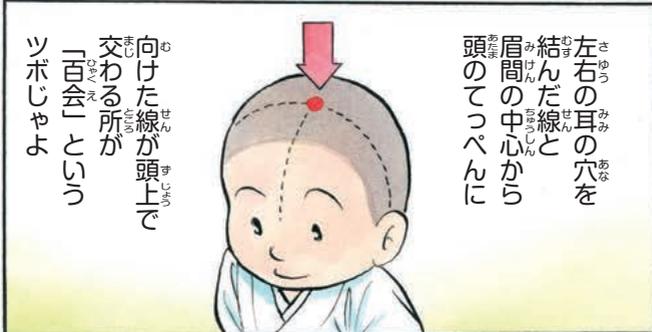


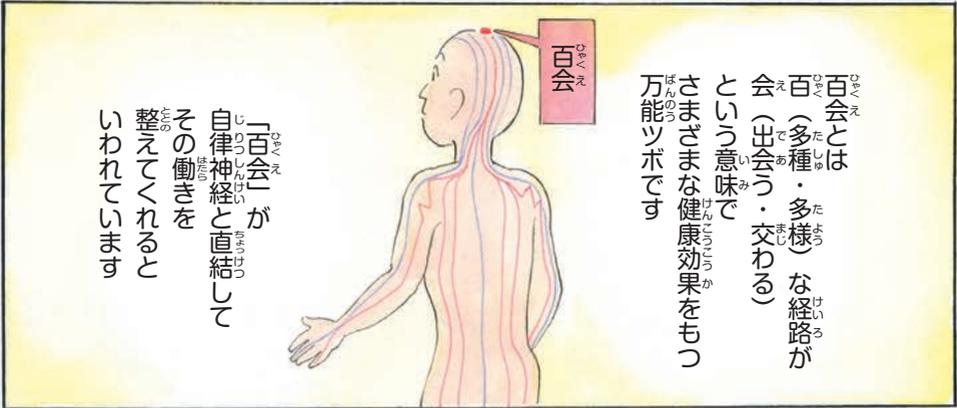
百会？



左右の耳の穴を  
結んだ線と  
眉間の中心から  
頭のてっぺんに

向けた線が頭上で  
交わる所が  
「百会」という  
ツボじゃよ

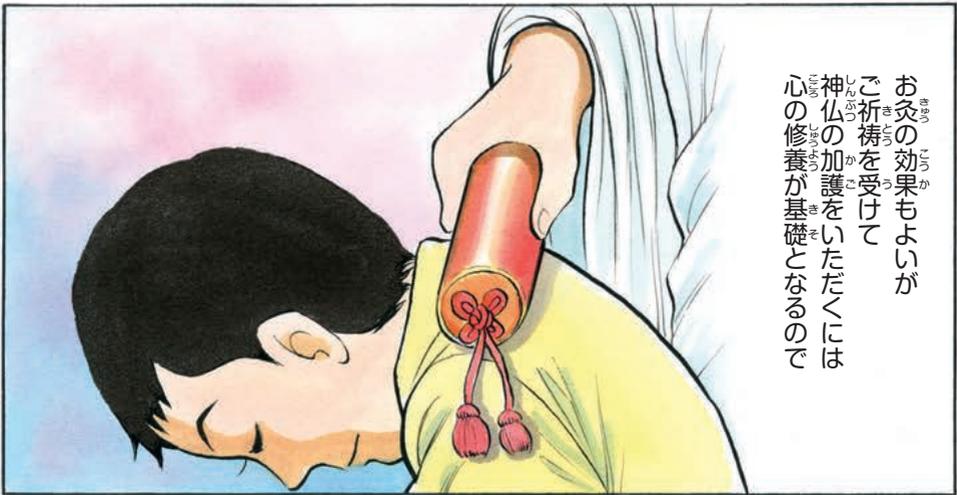




百会  
ひゃくえ

「百会」が  
自律神経と直結して  
その働きを  
整えてくれると  
いわれています

百会とは  
百(多種・多様)な経路が  
会(出会う・交わる)  
という意味で  
さまざまな健康効果をもつ  
万能ツボです



お灸の効果もよいが  
ご祈禱を受けて  
神仏の加護をいただくには  
心の修養が基礎となるので



祈禱の効果を  
十分に受けられるよう  
精進することが大切なのだよ

そして幼い子には  
虫封じの祈禱を  
行っておるぞ

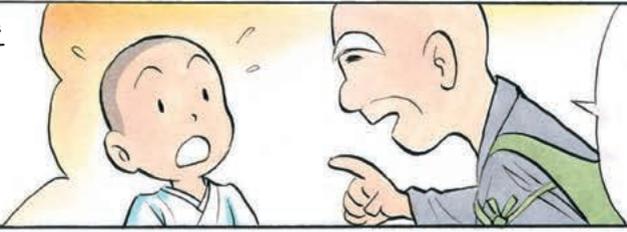
え？虫封じ？  
何ですか？

赤ちゃんが  
夜泣きをしたり  
幼い子が  
かんしゃくを起こしたりする  
かんの虫などは  
身体の中の虫のせいだと  
いわれてるんだよ



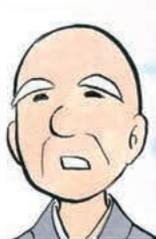
その騒ぐ  
虫を  
封じるんじゃよ

え、  
虫が身体の中  
に  
いるんですか？



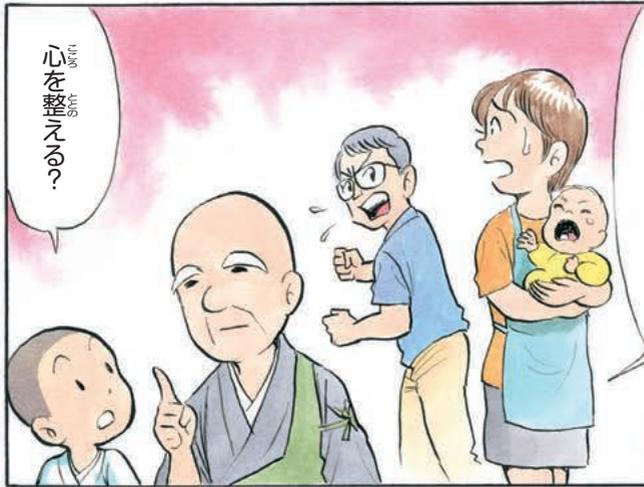
腹の虫が  
おさまらない  
虫の居所が悪い  
なごういごうだろ？

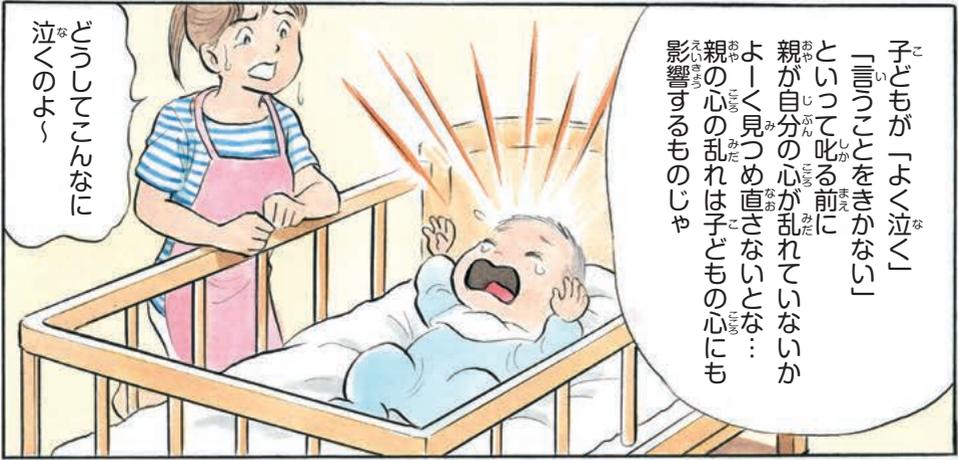
その虫じゃよ



虫とは私達の  
心を表しているんじゃよ  
だから虫を封じるためには  
子どもだけではなく  
親も心を整えることが  
大切なんじゃ

心を整える？





泣くよ  
どっぴこんなに

子どもが「ぐ泣く」  
「言うことをきかなさ」  
とこいて叱る前に  
親が自分の心が乱れていないか  
よく見つめ直さないと…  
親の心の乱れは子どもの心にも  
影響するものじゃ



遅くなって  
ゴメン

ただいま

ゴメンね  
ママを  
許してね

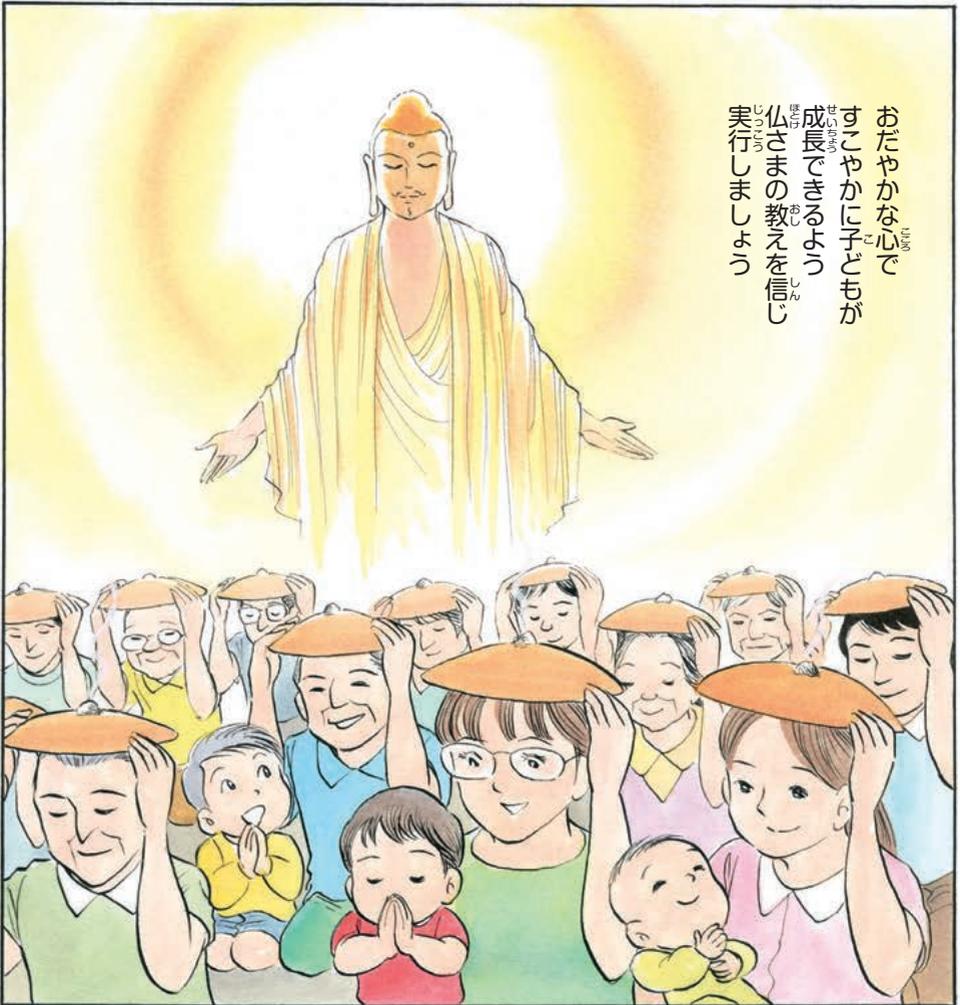


あ私  
イライラしてた



子どもとて  
何かしら原因があつて  
泣くわけじゃし  
やさしく見守って  
あげたいもんじゃない

夜泣きのひどい子どもを  
お持ちのご両親は  
寝不足になりがちで  
つらいとは思っけれど…



おだやかな心で  
すこやかに子どもが  
成長できるよう  
仏さまの教えを信じ  
実行しましょう

おわり

令和元年

# ほうろく加持。 虫封じ祈禱

昔から頭痛は「悪鬼」の障り、子どもの体調不良は

「<sup>かん</sup>瘡の虫」が原因と言われてきました

ほうろく加持は、頭痛除けと暑氣払いのため

虫封じは、子どもが健康に過ごすため

大人も子ども、夏を乗り切る元気をいただくご祈禱です

- 中国(三原) 7月14日(日) 受付 11時～13時
  - 関東(東京) 7月20日(土) 受付 11時～13時
  - 東海(本山) 7月21日(日) 受付 9時～12時
  - 関西(大阪) 7月28日(日) 受付 10時30分～12時
- ※お寺に来られない方もタオルや衣類などでご祈禱いたします。  
どなたでもお受けいただけますので、ぜひご参詣ください。  
お問い合わせは最寄りの支院・布教所まで。

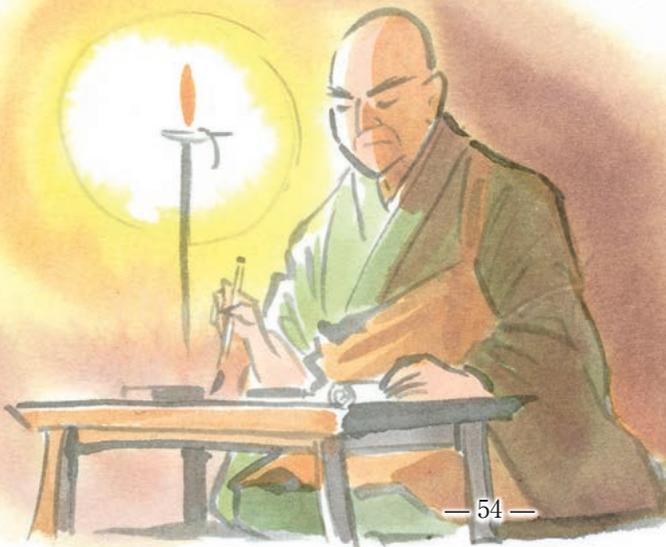


# よいののはの記

## 色心しきしんにほう二法

日蓮聖人が佐渡に流される前日、鎌倉の土牢に幽閉されている弟子・日朗上人にむけて書かれたお手紙があります。

日蓮は明日、佐渡の国に行くことになった。今夜の寒さにつけても、牢内（にいるあなたの）のありさまが思いやられ、痛ましく思えてならない。あなたは法華經一部を色心二法にわたって読まれたのだから、その功德で父母・六親・一切衆生を救う身である。世の人々は、法華經を読んで



いるが、口ばかり。経だけ唱えても、心では読まない。心で読んでも（経に書かれてあることを）実行はしない。色心二法にわたって読んでこそ、尊いのである。「天の諸の童子、以て給仕を為さん。刀杖も加えず、毒も害すること能わじ」と説かれているのだから、特別のことはないであろう。牢から出られたならば、速やかに（佐渡へ）来るがよい。お互いに無事な姿で再会したいものである。

文永八年辛未十月九日

日蓮

（日蓮聖人御遺文・土籠御書）

時は冬を目前にした十月の半ば。冬には氷点下となる極寒の佐渡への流罪は死罪も同然。その地に赴かんとする日蓮聖人が、弟子を慮って書いたお手紙です。この手紙を受



け取った日朗上人は、きっと師の真心に震えて涙したことでしょう。

「色心二法とはどういうことなのでしょう？」

「第一に妙法を唱え、第二に六波羅蜜を實行するということだよ」

「つまり唱えるだけでなく、実行もするということですね」

「口で唱えることと実行することは、車の両輪、鳥の両翼と同じなのだ」

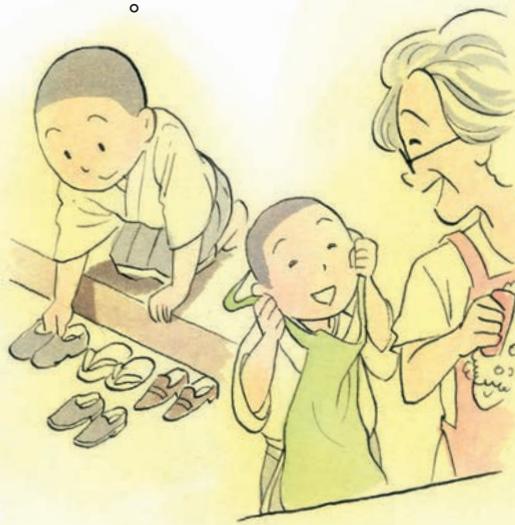
「〳南無妙法蓮華經〳と唱えることは、仏さまに〳妙法蓮華經と私は一体です〳と宣言するのと同じ。単に〳南無妙法蓮華經〳とどんなにたくさん唱えても、それだけで妙法



蓮華經と一体になれるわけではない。一体になるには、功徳を積まなければならない。この道を教え、導くのが慈悲・至誠・堪忍なのだよ。日常生活のあらゆる局面で、自分にできることで実行し、人に喜んでもらえるよう努力する。そのようにして、妙法蓮華經と一体になれた状態。こそが本当の幸せ、つまり、成仏ということなのだ」

「『南無妙法蓮華經』と唱える以上、言行一致の生活を送らなければならないということですね」

今世に極楽を作るために私達は信仰しています。自分は何が実行できるか。家族の幸せのために、周りの人に喜んでいただくために何をすべきか。を考え、お題目を唱えながら三徳を実行してまいります。



ひろば

福祉の



若いお父さん・お母さんのために

# はぐくみ

いつから始める？

トイレトレーニング

皆さんはいつからお子さんのトイレトレーニングを始めますか？

トイレトレーニングは適切な時期にスタートすることが大切で、一人で歩いて、言葉が理解できていること、おしっこ感覚が1時間半〜2時間くらいあいていることがトイレトレーニングを始めるのに適しています。もしもじするなどのサインに気がつくとき声掛けがしやすいですよ。

トイレトレーニングの方法はさまざまで、オムツがスムーズに外れる場合もあれば、一度断念せざるを得ない状況に陥ることもあります。トイレトレーニングは本当に大変です。失敗はつきものなので、肩の力を抜いて長い目で見てその子のペースに合わせる必要があります。

我が息子のことを改めて振り返ると、声掛けだけは1歳の頃から行っていました。ただし声掛けの内容は、息子にトイレへ行くように促すもので

## ～おすすめ絵本～



はなく、母がトイレに行きたい時に「チーしてくるよ」「トイレへ行つてスツキリしてくるね」と、親が子どもに言葉で伝えたり、トイレを済ませて流す時は「チーバイバイだね」と目で見せたり、お風呂場でおしっこが出た時は「チーでだね。気持ち良いね」とおしっこが出る感覚が身につくように声掛けをしていました。トイレへ行きただがる場合は、一緒に連れていき、トイレは狭くて暗く怖い場所だと思わないように、キャラクターの便座も用意。本格的に始めたのは息子が2歳5カ月の頃でした。季節は夏だったので、パンツ一枚にしてトイレトレーニングを始めましたが、何度もパンツでおしっこをしてしまい、駄々もれ状態。もらすたびに床を拭き、何枚もパンツを洗い、うまく進まないことにイライラして息子を怒鳴ってしまつたことが何度もありました。その後、次男が産まれてトイレトレーニングは中断。結局オムツが取れたのは3歳1カ月でした。4月から幼稚園に通い始め、パンツで登園させたところ失敗もせずにトイレでおしっこができるようになりました。経験して感じたことは、決して焦らないことです。子どもの身体の準備ができていないのに親が無理にがんばってもどうにもならないので、いつかは必ずオムツが外れると思って、焦らずにトイレトレーニングを始めてくださいね。

子ども家庭支援センターさくら 家庭支援専門相談員 水野 真弓

「健康コラム」 「日焼けについて」

日焼けは日光の紫外線で起こります。赤ちゃんのうちから、強い日焼けをしすぎないように注意してあげるとは、とても大切なことです。

日焼けをしすぎないようにするには、次のようなことに気をつけましょう。

- ①時間帯…午前10時から午後2時までに紫外線量が一番強くなります。できるかぎり、室内で過ごすようにしましょう。
- ②場所…日陰を選んで遊ばせましょう。
- ③帽子や衣類…衣類は肌の露出が少ない物、紫外線を反射しやすい白か淡い色のものを着せましょう。つばの広い帽子をかぶせましょう。
- ④サンスクリーン（日焼け止め）…低刺激性と書いてあり、ベビー用や子ども用として販売されているものを購入してください。

純粹な心と笑顔にふれるために

# ふれあい

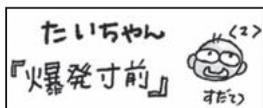
## 自閉症の世界って、なに？①

「自閉症」。聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。この言葉だけ聞くと、「自分の殻に閉じこもっている人」というイメージが浮かびませんか？漢字を見るとまさにその通りですが、そうではないのです。

自閉症とは、発達障がいの一つです。脳の発達の仕方の違いから、「他の人の気持ちや状態を理解すること」や「言葉を適切に使って相手とコミュニケーションをとること」などが苦手で、一般的な「常識」と思われることを身につけることも苦手です。興味がかたよっていたり、こだわりが独特なこともあります。周りの人達には理解できない行動をあらわすことがあります、多くの人々の目には変わった行動に映るかもしれませんが。このため、真面目に取り組んでいても、誤解されてしまうことがあります。



障がい者支援施設：泰山寮  
すてきな笑顔をありがとう  
生活相談員と利用者の絆



### 【絵の説明文】

たいちゃんの例に限らず、両手で耳をふさぐ自閉症の方が多いようです。

聴覚が過敏な人は、その人が嫌いな音に対して非常に敏感です。

その人にとって嫌な刺激は、軽減できるよう配慮してあげてください。無理に慣れさせようとすると、ひどい苦痛を与えてしまいかねません。

安定した状態でいることで、気にならなくなっていくこともあるようです。

自閉症の人には、会話が苦手な人が多くいます。写真や絵などと一緒に説明したり、単語で伝えると理解しやすくなります。感覚が過敏で、人混みや大きな音、光などの刺激が苦手です。静かな場所でお話しするなど、安心させてあげてください。新しいことやいつもと違う状況の時には困って混乱する人もいます。前もって教えてあげてください。「できない時」「間違っていた時」に叱って教えようとすると、混乱して余計に理解できなくなってしまうです。どうすれば良いのか、正しい方法を教えてあげてください。

私達は皆、それぞれに異なる感性と個性を持っています。それは自閉症の人達も同じです。少しだけ、私達が知らない、その人に見ることができない世界があるのです。「親の育て方が冷たかったのでは…」とか、「育った環境が良くなかった」とか思われてしまうこともあります。決してそうではありません。自閉症の人達にしか見えない世界を少しずつ見せてもらい、認めて、互いに支えあいながら暮らしていける社会は、きつとすばらしいものではないでしょうか。

障がい者支援施設 泰山寮 生活支援員 西尾 美緒

いつまでも穏やかな日々を送るために

# よりそい

介護保険で受けられる

介護サービスとは

介護保険で受けられるサービスには、大きく分けて

「居宅サービス」「施設サービス」「地域密着型サービス」の三種類があります。

## ◆居宅サービス

介護福祉士や訪問看護師が利用者の自宅を訪問し、日常生活の介助を行う「訪問介護」、利用者がデイサービスセンターなどを訪れて介護サービスを受ける「通所介護」など、自宅に居ながら受けられるサービスのことを指します。入浴・排泄・食事など被介護者の体に直接ふれる介護のほか、看護師や保健師などが医療行為を行う「訪問看護」、短期間施設に入居して介護を受ける「ショートステイ」、特定施設（ケアハウスなどの有料老人ホーム）への入居、福祉用具のレンタルサービスなども居宅サービスに含まれます。



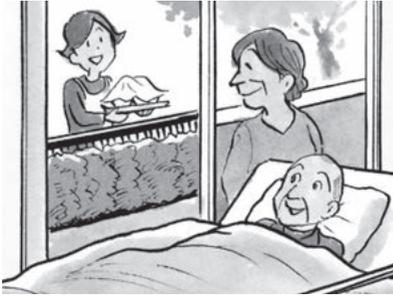
養護老人ホーム高浜安立  
あなたの「おふくろの味」教えてください。  
調理員のアンケートに答える入所者

## ◆施設サービス

介護保険法によって施設サービスと認められているのは、「介護老人保健施設」「特別養護老人ホーム」「介護医療院（介護療養型医療施設から転換）」の三つです。

## ◆地域密着型サービス

市区町村によって指定された事業者が、その市区町村に住む利用者を対象として行うサービスです。要介護状態になった高齢者が、今まで通りの住み慣れた環境で、地域住民と交流を持ちながら介護サービスを受けられるようにすることを目的に、2006（平成18）年から新たにスタートしました。



小規模で運営される地域密着型のグループホームなどに入居できるほか、24時間対応が可能な介護職員による定期巡回サービスや、認知症の高齢者だけに特化したケアなど、柔軟なサービスを受けられる点も特徴です。

### 特別養護老人ホーム・安立荘

グループリーダー（生活相談員）

原田 大二郎

## 介護保険料について

○第1号被保険者（65歳以上の方）  
市区町村から納付通知書が届き保険料を納めるか、年金から天引きされる形で保険料を支払います。保険料は、住んでいる市区町村により基準額が異なり、所得によっても変わります。具体的な金額について知りたい人は、各市区町村の公式サイトを確認しましょう。

○第2号被保険者（40歳から64歳以下の公的医療保険加入者）

厚生労働省が1人当たりの介護保険料の負担率を設定し、それに基づいて計算した保険料額を、健康保険組合や共済組合などの医療保険者に知らせます。通知を受けた医療保険者は、第2号被保険者から医療保険料と一緒に介護保険料を徴収します。

## 新たな地域交流のカタチ



写真提供・昭徳会

障がい者支援施設・小原寮

～地域の一員として輝き活躍できる地域社会をめざして～

近年、福祉施設においても地域とのつながりの重要性が叫ばれていますが、これまで子ども達を対象とした交流活動が乏しかった当施設では、地元小原中部小学校との交流活動を検討しました。しかし、土・日は学校が休みで、すでに決まっている年間行事等もあり、新たに何か交流をすることがむずかしい状況でした。それでも、お互いに普段日課として行っていることや、できることを一緒に行うのであれば交流できるのではないかと、ということで生まれたのが「給食・掃除交流」です。

ただ、子ども達にとって『障がい者』とは、『自分達とは何かが違う未知の人』です。そのため、どのように関わり、関係を築いていけばいいのかわからず、不安を感じている状態でした。そこで私達は、障がいについて正しく理解してもらうための学習会を実施しました。

その結果、子ども達は利用者が困っていると思うとすぐに手伝ってくれるようになりました。そしてあっという間に二年目の交流を迎えます。二年目は、「できる交流から楽しむ交流」を新たな目標に設定し、一

年目の掃除交流から、より楽しく関わることのできるレクリエーション交流へと内容を変更し、学習会は体験型へ発展させました。

この頃、子ども達から「小原寮の利用者さんが生活しているところに行ってみたい」という声が聞かれるようになりました。そこで、小原寮がバックアップする「グループホームさくや」と子ども達が交流する機会を設けました。紙粘土が得意な利用者が上手に作るコツを教え、一緒に工作をしたり、子ども達は歌のプレゼントをくれたりと、まるでホームパーティーのよう楽しいひと時でした。



利用者も交流を通し、気持ちに大きな変化と成長がみられました。それは、今まで誰かに教えるという経験がなかった利用者が、自分の得意なことや好きなことを子ども達に教えることで、心から認められる喜びと自信を獲得したのです。

一層、地域に密着した施設をめざして開始した小原中部小学

校との交流活動ですが、子ども達にも理解され、愛され、支えられることで、これまで以上に地域に密着した施設へと成長することができました。今回の交流活動をきっかけに、障がいを持った方とともに地域で暮らすことがあたりまえ、と子ども達や周囲の方々にも思っていただけたらうれしく思います。

多くの人にとって障がいとは、子どもや高齢と違い、経験したわけでもなければ、いざれ迎える未来だと思ふ方は少ないと思います。それゆえに障がいはいはどこか他人事になりがちで、認知や興味心が少なく、正しく理解されていないこともたくさんあります。そのためにも私達は障がいを持った方が偏見なく、地域の一人として輝き活躍できる、そんな地域社会となるよう今後も取り組み、挑戦し続けていきます。



障がい者支援施設・小原寮 世話人 峰 杏奈

## 新入生、「建学の精神」を学ぶ

日本福祉大学付属高等学校

日本福祉大学付属高等学校 教諭 松永 太志

今年度も本学の学園長である鈴木正修先生より、新入生全員に『日本の福祉を築いたお坊さん』を戴きました。今年度はゴールデンウィークが10連休であったため、戴いた本で予習をして、正修先生の講義に臨むことができました。5月22日にGlobal FUKUSHI Studiesの授業において、正修先生より鈴木修学先生の行われた教育および「建学の精神」についてお話いただきました。

昨今の部活動の活躍などもあり、今年度はたくさんの新入生が入学してくれました。学校の中が活気づいています。高校生活が始まって二カ月がたち、新しい高校生活の中で自分の目標を掲げ、生徒達は日々懸命に学習に、部活動に取り組んでいます。修学先生の一生から大いに学び、生徒が修学先生の思いを引き継ぎながら、自分を成長させていくことを期待しています。



## 貫くことの大切さを学びました

A組 青山 洸輔

学園長先生から戴いた本でも今回の講義でも感じましたが、修学先生は本当に熱心で自分がどうなるうと誰かのために全力を尽くす、愛のある方なんだなと思いました。杉山先生から「幸せの種は人助けです」と教わってから真つ直ぐに行動をされました。遮断機をつけてほしいと願い出て自ら寄付をしたり、頼まれたことを嫌がらずしっかり取り組んだりと修学先生は常に全力だったのだと思います。また常に人をほめて育て、障がいがあるうとも懸命に仕事や勉強に打ち込めばできるんだ、と強い信念をもって動かされた姿に、貫くことの大切さを学びました。そして否定的な言葉を使わず、財布を落としても命を落とさなくて良かったと考えることなどポジティブな考え方の重要性も学びました。修学先生に近づくにはまず人の喜びを自分の喜びに、という「慈悲」の心を持つこと、そして忍耐。これならば全員誰でもできると思います。日本福祉大学付属高校に入ったからには修学先生に全員が近づき、理想の学校になるよう努力する必要があると思います。この講義を後三年間心にしっかりと

入れて、学校生活を充実させていきたいと思っています。

## プラスな言葉を口に出す

A組 阿知 波空

鈴木修学先生は口を出すだけで何もしないような人ではなく、行動も伴った方だったということがわかりました。お金を持つて駅長の方に遮断器をつけて欲しいと頼みに行き、名古屋の本社で署名活動までして人々の安全のために行動できることがとてもすごいと思いました。また、「いくら良いことをしても一度怒ってしまったらすべて無になってしまふ」という言葉も心に響きました。私は少し気が短いので、この言葉を教訓にして怒ることがないようにしていきたいと思います。言葉は運命を引き寄せるというお話は、確かにそうかもしれないと思いました。マイナスの言葉を口に出すと状況はより一層悪くなるような気がしますし、プラスな言葉を口に出すと状況が良い方向へと転がっていくような気がします。気持ちの面でもマイナスの発言には気分も落ち込みますし、プラスの発言には気分が明るくなっていくので言葉によって人生を左右されることはあると思いました。ま

た学園長先生のお話を聞いて、当時から修学先生は子どもに對しても、人としての尊厳や人権を意識していたのだと感じました。昔の社会で考えると、その考え方は先進的で一般的ではなかったと思いますが、自分なりの信念を確かに持つて生きていらしたのだと思います。ほめるメソッドを誰よりも早く導入し、今の時代にも通用する思想を実践されていたすばらしい方なのだと思います。

## 誰かのために尽くす

A組 高木 球太

今回の講義を通じて、「自分が幸せになるには誰かのために尽くす」ということが大切だと思いました。また人には多くの感情があつて、その感情一つで他人に与えるイメージが変わっていくことも理解できました。感情のままに怒ることは簡単にできてしまいましたが、ほめたり励ましたりすることはむしろ難しく、忍耐力が必要です。実際に生活の中でも、誰かがほめられている場面より誰かが怒られている場面を目にすることが多いと思います。しかし、誰かが怒られているところを目にするのはあまり良い気持ちにはなれません。そのため少しでも怒ったり怒られたりするものが減り、少しでも多くの人々がほめ

たりほめられたりするようになれば、と思います。その人数を増やす方法が誰かのために尽くすことだと思えます。一人ひとりが少しでもこの気持ちを持っていれば、自然と人数は増えていくと思います。しかし、誰かのために尽くすというのはとてもむずかしいことだとも感じます。頭では助けた方がよいのかな、手伝った方がよいのかなと思つても、実際に行動に移せないことが多いと思います。ただ実際に行動することができれば、手伝ったり助けたりした方も、助けられた方もお互いが良い気持ちになれます。そのため少しずつ行動に移していき、最終的には誰かのために尽くすことがあたりまえにできる人になりたいです。そして、少しでも多くの人がこの気持ちを持つて生活していける社会にしたいと思ひました。

## 助けることに幸せを感じる人に

A組 丸田 ゆき

人の喜びや悲しみ苦しみをすべて自分のことのように感じることが、自分の幸せにも相手の幸せにもつながるということがわかりました。人助けは関係のない人達から見たら自己満足に過ぎないかもしれませんが、助けた人の幸せが自分や周りの人達に広がっていくことこそが、

「幸せの種をまく」行為ではないかと私は考えました。修学先生は当時忌むべき病氣として誤って認識されていたハンセン病の人々や、親のない身寄りのない子ども達の怒りや苦しみ、悲しみに寄り添い、助けようとされて、実際に幸せを広められました。また「ほめて伸ばす」という考えを実践されたのもすばらしいことだと思えました。確かに人の良いところを見つかけたり、お互いにほめ合うというのはむずかしいことだと思えます。ただ、悪いところばかりを指摘するとやる気がなくなり、暗い気持ちになってしまいます。それは言われた側にも言った側にも当てはまることで、お互いに良いところを見つけた、ほめ合うことはとても大切なことだと思えました。働くことが楽しいと感じることができれば、良い仕事ができ、その仕事が人の幸せにつながると思うと、自分も幸せを感じるはずです。私もそのような仕事に就き、人々を助けることに幸せを感じられる人間になりたいと思えました。

## たくさんの人の幸せのために働きたい

C組 竹澤 歩里

今回の講義をお聞きし、杉山先生のお話にあった通り、言葉には気をつけて生活するべきだと思いました。思っ

ていないことでも言葉にしてしまうと影響されて、雰囲気が悪くなることもあれば、ポジティブなことを思っていないくても、あえてポジティブな言葉を使うことで良くなることもあると思いました。ハンセン病が感染しないものだということは今ではわかっていますが、まだ理解されていないなかった当時の世の中で、ハンセン病患者さんを手助けするという選択をされた修学先生は本当に希望のよいうな人だと思えます。子ども達を「くん・さん」と呼んだり、ほめて成長させるといふ修学先生の教育方針は、良い世の中にするための手段にもなると思います。他人に対しての敬意が生まれるため、仲が良くても礼儀を大切にすることにもつながると思います。今ではあたりまえですが、どんな人間でもほめて教えれば良くなるという考え方は、今後も何より大切にすべきことと感じています。多くの人の協力があって今の日本福祉大学や付属高校ができたことを学べた一時間でした。修学先生の思いや考えを私達が引き継げるように、学べる限りの「ふくし」を知り、たくさんの人の幸せのために働ける人材になれるように、社会への視野を広げて過ごしていきたいと思えます。

## 幸せの種をまく

C組 永田 理莉

今日の講義をお聞きし、今では考えられないようなことがあたりまえに起きていた時代の中で、修学先生が他人の嫌がるようなことを自分から率先してやっていたことで、今の福祉があるんだなと思いました。困っている人に手を差し伸べることや、喜びや悲しみを自分のことのように感じることができるようになれば、自分も幸せになることができる。一つの幸せの種を自分からまいていけば、その分だけ幸せの花が咲くということを学びました。大変なこと、自分にとって不利なことがあったとしても、相手が幸せになることがあるならば、自分から行動していきたいと思います。ハンセン病の人を国が法律を作って隔離をしてしまうのはどうかと思いましたが、修学先生のお陰でその人達も幸せに過ごすことができましたと思います。そして児童虐待の問題も、なかなか減らないのが現状ですが、子ども達をほめて、ほめて、ほめて伸ばすという心掛け次第で、たくさんの子どもの達が笑顔になれると思います。たとえどんな子どもでも他の子達と同じように接し、「ほめて伸ばす」ことが、子ども達の成長にふさわしいと思いました。修学先生のお陰で今の福祉があると思いますし、私達の未来を明るく照らし

てくださっているのは、先生の勇氣ある行動のお陰だと感謝しました。

## 人の幸せを願い続けた修学先生

C組 文堂 日南子

今日の講義をお聞きし、人生の最後の最後まで、自分だけでなく、他の人の幸せを願い続けた修学先生はかっこいいなと思いました。当時、踏切に遮断機がなく、事故が多発していたところを、業者にお金を持って遮断器をつけてもらえるように頼みに行つたという逸話を知り、自分はそのために動けるような人間ではまだないと思いました。自分のことだけにお金を使うのではなく、人々が少しでも幸せに生きられるように行動する修学先生は、すばらしいし、誇らしいです。私も小さなことからでも人のため、友達のために動いていきたいと思っています。困っている人を助けられるようになりたいために、自分なりに少しずつ頑張っていこうと思います。将来の目標は理学療法士です。修学先生のように、病気やケガで困っている人を助けることができるよう、夢に向かって努力していききたいです。

## ポジティブに考えよう

E組 大崎 悠梨

今回の学園長先生の講義は、戴いた本とはまた違った修学先生のお話が聞けてとてもおもしろかったです。特に言葉についての話が印象に残りました。私はマイナスイメージをたくさん言ってしまうたり、ネガティブに考えることも多いとわかりました。マイナスなことを言うとき、自分も暗い気持ちになってしまいますし、周りも暗くしてしまうので気をつけたいと思います。またネガティブに考えるより、ポジティブに考えていこうと今日の講義を聞いて思いました。他にもほめることもとても大切なことだとわかりました。ほめるという行為は年下の子や子どもに向けて行うもの、と思いついていましたが、同級生や年上の人にも大切なことだと感じました。考えてみると特に同級生をほめることがなかったと思います。少しずつでも明るい言葉をかけたり、ほめたりしていきたいと思います。また誰でも良いところを見つけて、伝えてみようと思います。

## 苦しみ悲しみを分かち合えるように

E組 加藤 遥

私は今回の講義においても、お坊さんの本を読んだときと同様に、ハンセン病患者さん救済に関してもっとも深く考えさせられました。昔は医療の考え方が遅れていたことは、仕方がないことだと思えますが、家から追い出し、戸籍からなくなったり、家の中で隔離するなど、ハンセン病にかかった人は今では考えられないような想像以上の苦しみを経験したと思うと胸が苦しくなります。私は将来、看護師になりたいと思っています。講義に出てきたナイチンゲールの「経験したことのない悲しみ苦しきもわからないとダメ」という言葉の通り、日本や世界にはハンセン病を経験した患者さんのように、苦しみや悲しみを抱えたたくさんの方がいますが、私はそのすべてを一緒に分かち合えるような人になりたいと思います。もし看護師になることができたなら、この講義の中で学んだことを思い出したいと思います。

## 修学先生のような信頼される人に

E組 土井 夢香

今日の講義をお聞きし、修学先生が自分だけの人生で

なく、他人のためにも働く人生を送っていることを改めて知り、すごい人だと思いました。ハンセン病は当時の人にとっては恐ろしい病で、かかると差別されてしまう程だったにもかかわらず、自ら患者の人を助けたいと思いい、また親のない子ども達を引き取り、育てるといいうむずかしいことを自ら引き受け、とても偉い人なんだと思

## 『日本の福祉を築いたお坊さん』感想文

### 学んだ言葉

A組 岡本 紗歩

私は今回『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで、自分の選んだ学校を創られた方が、こんなにもすばらしい方だったんだと知りました。

この本の中で心に残ったのが、「真心をもって社会事業をすれば、助けてくれる人がたくさんいる」という言葉です。真実の心や偽り、飾りのない心を持って懸命に行動すれば、それを助けてくれる人はたくさんいるんだということはこの本から学んだからです。何かをしようと思った時、例えば法にふれるような、危険なことにはやろうやろうと手伝いに来る人は少ないと思いますが、人を助けるためのボランティアならば、いいよ、いいよ

いました。どんな子どもにも接する時は平等に接し、叱るのではなく、ほめて育てることにしていた先生は、色々な人のことを考えられていて、私もこれから先の人生の中で、他の人のことを考えていき、修学先生のように人に信頼される人間になりたいと思いました。

と一緒に生きてくれる人も必ずいると思います。

もう一つ心を動かされたのが、修学先生が施設の職員を集めて言った「あの子は駄目だ。今日もああいう悪さをした」ということは明日考えることにして、今日は良かったことだけを探して、ほめてあげてください。それが一番の良い指導法なのです。一つのことを教えようと思つたら、五つくらいはほめてあげることが必要です」という言葉です。私はこれを読んで新しいクラスや新しい環境になった時、そこで一緒になった人達の嫌だなと思うところばかり見て、逆にいいなと思うところを全く見ていなかったのかもしれないと反省しました。これからは初対面の人に対しては、嫌なところを見つけないで、はなくて、その人の良いところや好きなどところを見つけたいなと思いました。

さらに「リーダーの人が率先して働くと、下の人がついていく」という言葉にも今後の姿勢を学びました。偉い人が偉いからといって、下の人達だけを動かしていたら、下の人達は嫌になって、ついてきてくれなくなってしまうです。これから先輩になったとしても後輩達に押し付けるのではなく、自ら率先してやれるような人間になりたいです。

## 修学先生の行いに学んだ福祉の意味

A組 榊原 悠大

人は人のためにすることに対し、必ず面倒くさいという心を持っている。私はこの本を読むまでそう思っていました。どちらかというとそう思う人の方が多い戦争前後の時代に、自分の良心、身を捧げてまで多くの人を救い、支えたお坊さん、鈴木修学上人の行いに心を打たれました。大変興味を持つきっかけとなるこの本を寄贈いただき、誠にありがとうございます。

人の教えがここまで人を変えられることができ、その人の励みとなることにとても驚きました。修学先生は杉山辰子先生の教えに心打たれ、日本の「福祉」という、人の関わりで最も大切であるものをつくってくれました。

「人はみな平等である」と日本では言われていますが、

この資本主義社会では不幸な人、自由に生きていけない人は出てきます。しかし、修学先生はさらに厳しい環境にあった当時の日本で、国が定めた不条理なルールに抗い、自らが処罰を受けてまで人を救おうとしてくださいました。決してくじけず、信念を貫き通す行いに勇気までもいただきました。

私は今、日本福祉大学付属高校に車椅子で通っています。そこに通うのにも多くの人に支えられています。そのため私は福祉を受けている側となるのです。私は中学のスピーチで卒業生代表として明言しました。「今は人に支えられてもらう立場ですが、今までに支えてもらった人に恩返しするつもりで生き、いつか支えてあげられる人となることが目標です」と。

修学先生が日本、そして日本福祉大学付属高校に残してくれた福祉という一つの文化をこれからも尊重していくとともに、GFSで多くのことを学び、日本社会に貢献したいなと思います。修学先生のように信念を貫ける人間として成長していきたいなと思います。

## 少しの行動が誰かの幸せに

B組 片岡 叶絵

『日本の福祉を築いたお坊さん』の本を読んで、「幸せ」

とは自分が笑顔でいること、相手を笑顔にし、自分も笑顔になれることだ、と学びました。

修学先生はとても思いやりがあり、ハンセン病患者の方の救済や特高警察による弾圧など、とても大変な経験をされましたが、どんなこともやり遂げられました。それは修学先生にしかできないことで、私はそんな思いやりの心を持った修学先生を尊重しています。修学先生は自分の幸せのためではなく、人の幸せのために行動し、人助けをされましたが、今の私はまだそのようなことができていません。ですが修学先生の「幸せになりたければ幸せの種をまくことが必要。幸せの種さえまけば、幸せになれる」「自分のできることで、立場を通じ、仕事を通じて、人の喜ぶことをして導く」という言葉に心を動かされました。この言葉を読んで私は、自分一人の行動でも誰かの幸せにつながることはできるのではないかと考えました。

幸せの種をまく方法は人それぞれだと思いますが、私にできる種のまき方は、自分が笑顔でいること、いろいろな人に笑顔で話しかけることです。また話したくないクラスメイトや部活動の仲間、学校にいる同級生に笑顔で話しかければ少しずつ幸せが広がっていくと思います。それは高校生になって一カ月しか経っていない私にしかできないことです。

日本福祉大学付属高校に通い、福祉についてたくさんのことを学び、それを人の幸せにつながるよう、私自身も常に笑顔でいられるように頑張っていきたいです。そして修学先生の言葉を忘れず、今からでも自分にできることから、少しずつ行動に移していきたいと思えます。

### 「慈悲」「至誠」「堪忍」

B組 斉田 千弘

私はこの優しさにあふれた人を創立者にもつ日本福祉大学付属高校に入学できたことを誇りに思いました。人のために自分のすべてを捧げ、人のために生きた修学先生の生き方に感動しました。

修学先生の考え方に影響を与えた恩師、杉山先生の言葉で一番心に残っているものがあります。それは「慈悲」「至誠」「堪忍」です。なぜこの言葉が私の心に残ったのか、それは以前この日本福祉大学付属高校の公開見学会に来た時に、教頭先生がおっしゃっていたのを聞いたことがあるからです。その時私は、教頭先生の話を聞いて、言葉の意味がわからず、何かむずかしいことを言っているなあと思っていました。しかしこの本を読んだ今、やっと理解することができました。杉山先生がおっしゃったこの言葉を守り続けた修学先生は、私の尊敬する人

となりました。

「慈悲」。自分だけでなく、他人にも喜びを分け与える。私はできているのか。自分中心になっていないだろうか。自分が幸せなら、それを周りの人と共有しようと思いません。

「至誠」。世のため、自ら役立って、優しさを持ち続ける心。これは社会福祉の仕事に就くと一層、大切だと思います。「世のために自らを役立てる」。これはまだできていないと思います。しかし小さなことでも構わないのなら、日頃から積極的にやっつけていきたいです。

「堪忍」。理不尽なことから逃げ出さず、他人を許す広い心。消極的な私は、自分から何かをするということは今ままであまりありませんでした。しかし高校生になってから、自分から色々なことに挑戦するよう努めています。この三つの言葉でできていること、できていないこともありますが、意識して今後の生活を過ごしていきたいと思えます。

## 大切な役割

C組 杉本 凱

私が『日本の福祉を築いたお坊さん』という本を読んだ一番印象に残ったのは、この本の9ページにある、「あ

なたにはあなたでなければできない大切な役割がある」という言葉です。この言葉は自分の存在する意味をとっても考えさせる言葉だと思います。

人はすべて同じようにできているのではなく、少しずつの違いがあり、誰も同じように作られてはいません。修学先生の「私の役割とは何でしょう。私は人生の意味を求めています。どうしたら幸せになれるのか日々考えています」という問いに対して、「あなたのような立派な魂を持った人は、それ相應の生き方をしなければいけません。あなたに課せられた役割とは、自分自身でおいおい気がついていくことでしょう」と仏教感化救済会の創立者杉山辰子先生がお答えになります。この言葉にはとても考えさせられました。

「あなたにはあなたでしかない大切な役割があります」とは、人は同じようでも少しずつの能力の違いで、自分にしかできないことがこの世にはある。それを探して見つけ出して、その課せられた役割というものに気づくことができたなら、幸せになれるという教えでした。

人は誰しも生きがいややりがいが必要ならば、何もおもしろくない一日を過ごすことになってしまったり、とても意味のない一日になってしまいます。そのため、自身の大変な役割というものを見つけることが、自分にとっての幸せでもあるし、あるいは自分ではない色々な

人の幸せにもなるのではないのかと思いました。そのため私は自分にとっての大切な役割というものを、時間がどれだけかかるのかわかりませんが見つけていきたいです。

## 『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで

C組 中村 佑月

私は、「幸せになりたければ、幸せの種をまくことが必要です。幸せの種をまけば、人は本当の幸せになれるのです」という文を見て、とても感動しました。

私は幸せになるには、自分以外の人を幸せにすることが大切なんだと思いました。自分のことばかりでなく、相手のことを幸せにできるような人間になりたいと思いました。最初、私は幸せの種まきとはどういうことなのかわからなかったのですが、この本を読んで、不幸な人々の手助けをすることが幸せの種まきになると知ることができました。どこかで自分も誰かを助けられるような人になりたいと思いました。

修学先生はハンセン病患者さんに偏見を持たず、差別もせず、ともに施設で生活をされるなど、周りに流されない、すばらしい方でした。私も周りに流されない強い人になりたいと思いました。「自分はどうなってもかま

わない」と言い、患者さんのことを一番に考えていてとてもすごいと思いました。自分よりも相手を一番に考えて行動できることは、とてもすごいことだと思います。

私は「窮すれば通ず、真心をもって社会事業をすれば助けてくれる人がたくさんある」という文にもとても感動しました。初めは助けてくれる人がおらず苦労しても、努力をしていけば必ず助けてくれる人が現れるのだと思いました。辛くてもあきらめず頑張ることが大切なんだと学ぶことができました。障がいを持っている人も持っていない人も尊い命を持っていて、一切の差別なく、真心を持ってお世話させていたかどうかという言葉にも心を打たれました。あたりまえのことですが、実際はまだまだ差別に苦しんでいる人はたくさんいるので、この言葉を忘れないようにしていきたいです。苦しいことがあってもあきらめず、頑張る修学先生のような人になりたいです。

## 行動に移すことの大切さ

E組 相武 舞

私はこの本を読んで、日本福祉大学を創設した鈴木修学先生の偉大さを知りました。私は既に成功や贅沢な暮らしを手に行っているのに「自分は幸せなのだろうか」と

満たされない気持ちを抱く点から、修学先生にまず少し他の人とは違う何かがあったのではないかと感じました。

その後、修学先生は法華経の教えを学び、杉山辰子先生と出会い、そこから法華経を信じ続け、福祉の実践を続けられました。ハンセン病という、当時強い感染力だと考えられていた病気にかかってしまった患者さんの療養所の運営という重い任務や、その後も罪を犯した少年を引き取ったり、親から捨てられたり、虐待を受けて心に深い傷を負った子ども達を引き取る活動を行われました。修学先生は困難にぶつかった時、必ず相手と深く向き合い、自分の苦しさに気づいていないのではないかと思うくらい、相手のことだけを考え、杉山先生に教わったことを守っていました。

私は将来、保育士などの子どもと関わる仕事に就いて、頑張りたいと思っています。そのため、親から捨てられ、心に傷を負った子ども達の心を開いてもらうために、努力すべきことを職員に話す場面は、とても興味深く、何度か読み返しました。そして心を開いてもらうため、いろいろあったことで少し性格がむずかしい子を直すために、一番大きいのはほめることだと学びました。悪いところを見つければかりでなく、良かったことだけを探し、ほめる。良いことがなければ、何か仕事をさせてそれをほめる。それが一番良い指導方法だということ。そして

慈悲と至誠、堪忍の心を忘れず、根気よく向き合ってあげることが大切なんだと知りました。修学先生はどんな困難に当たっても子ども達への愛を忘れず、子どもの幸せだけを考え、行動に移し解決していききました。「幸せになりたければ幸せの種をまくことが必要」。どんな時でも向き合い、行動に移すことの大切さを学びました。

### 『日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで

E組 江口 心乃

この本を読んで鈴木修学先生がどれ程すごい人なのかを知ることができました。例えば、杉山先生に法華経を教えてもらった場面では、杉山先生は法華経を唱えたら治らない病気はないと仰っていますが、もし自分が修学先生の立場だったとしたら、本当に治るかわからないものはやらないし、続かないと思います。しかし修学先生は、寝たきりの親戚に法華経を唱え、いっこうに良くなる気配がしなくても、法華経を唱えれば幸せになれる、と信じて続けていたら、寝たきりだった人が一歩一歩歩けるようになっていたことが書かれていました。最初は何も変わらなくても、まずは始めてみて、いつかはできると信じて続けることが大切だなと思いました。

この話とは関係ありませんが、私はどうせ勉強をやっ

ても変わらないから、やらなくてもいいんじゃないかと、ネガティブに考えていました。しかし修学先生のようにポジティブに考えて信じて、続けることを自分の中でやっていきたいなと思いました。そしてもう一つ、修学先生の考えがすごいなと思うところがありました。それは叱ることを避け、良いところを見つけてほめることを徹底した点です。自分も習い事で体操をやっていた時に、怒られると、次は怒られないようにと、か、見返すために頑張ろう、という後向きな考えが強くなり、あまり自分のためにプラスになっていない気がしていました。しかし、ほめられた時は、次はもっとほめてもらうようにと、前向きな気持ちで考えられた経験を通して、叱られるよりもほめられる方がいいなと思います。実際はなかなか人の良いところを見つけてほめるのはむずかしいと思いますが、少しずつでも怒るよりほめることができるようになります。これから少しずつで修学先生の考え方を知っていき、行動に変えていけたらいいなと思いました。

## 幸せの種をまく

F組 阿部 美優

私はこの本を読んで、日本福祉大学を創ってくださっ

た鈴木修学先生への尊敬の気持ちでいっぱいになりました。私が進路で日本福祉大学付属高校を選んだ理由の一つに、付属高校の先生方や先輩達がとても穏やかで優しく、心の距離感が近く、安心できたことがあります。その校風から、入学してできる友達もきつと心優しいと確信できました。実際、温かい笑顔があふれている学校で、空気が軽やかで、雰囲気の良いすばらしい環境です。そしてそれはすべての人の幸せのためにという、修学先生の精神に基づいているからこそだと思います。数多くの苦労や挫折があっても、慈悲・至誠・堪忍の三徳の精神を持ち続け、悩み苦しむ人々の心を理解され、人の痛みに寄り添うことは簡単ではありません。それができるのは自分も痛みを経験し、相手の立場になって思い、考えることができるからであり、修学先生が心を配れる人、愛を与えられる人だからこそと考えます。

ハンセン病の人達や震災孤児、知的障がいの子ども達など、修学先生はたくさんの人々と、そのご家族を支援され、社会福祉を広げ、指導者も育てて、絶大な信頼を集められました。ほめて育てることを大切にされてきたのが、家族みたくて素敵です。私もほめられるととてもうれしいです。私がこの本で一番心に残った修学先生の言葉は少年寮の子ども達が作った机が売れたときの「とても立派にできましたね。一本の釘、一枚の板にも真心

がこもっていますね」という一言です。相手の努力と気持ちを認め、心に寄り添って、愛にあふれた言葉です。心が温かくなりました。私は今、15歳でこれから色々なことがあると思いますが、修学先生のように幸せの種をまくことができるよう、「ふつうのくらしのしあわせ」があることに感謝して、自分らしさを大切に、根がしっかりとした芯を持ち、美しく可愛い花のような愛と優しさにあふれた女性になれるよう努力していきたいです。

## ひとのために行動する力

F組 竹内 心花

日本福祉大学付属高校に通い始めて一カ月が過ぎようとしています。この本に出会うまで、この高校が日蓮宗のお坊さんが創設者であることを知りませんでした。創設者の鈴木修学先生は同時に社会福祉法人昭徳会の創立者でもあり、日蓮宗法音寺を創建した人でもあるため、この学校が福祉に携わる学校になったのだと思います。私はこの本を読んで、どれ程修学先生が自分を犠牲にしてまで人々を幸せにしようとする努力してきたのか、とてもよくわかりました。

今では完治するハンセン病ですが、患者さんが差別され、毛嫌いされていた時代に、嫌な顔一つせずお金もな

い中、看病し、患者さんのために働き、自分達のことよりも他人のことを考え行動した修学先生は、言葉では言い表せない程の寛大な心の持ち主だと思いました。もし私が修学先生と同じ立場に立たされたとき、人のために何かをしたいと思ってもここまでことは到底できないと思います。また戦災孤児の育児院の経営の引き継ぎを相談された時には、「親のない子を助けて幸せに導くこと」「不幸な人々に自分ができることを精一杯尽くすこと」を誓って二つ返事で承諾をし、子ども達には「お父さん」と呼ばせ、本当の父親のように育てられました。すばらしいことをたくさん行ってきた修学先生が設立された、この日本福祉大学付属高等学校に通えてとてもうれしく思います。

私は自分で選んだこの高校で、修学先生が示された「人のために行動する力」を身につけていきたいと思えます。私が修学先生を尊敬するように、修学先生にも杉山先生という尊敬する方がいらして、その方をめざして取り組まれたように、私も上に向かって頑張っていきたいです。人に頼まれたときには、望まれたこと以上の結果で返すなど、修学先生がされてきたように、私も三年間で修学先生が望まれる以上の人間になりたいと思います。

## 幸せの種まき 感謝と親切

功徳を積むということは

それができたことがうれしいのです

良いことをすれば誰が見ていなくても

仏さまが見ていてくださいます。

大乗山 法音寺

## 編集後記

御開山会は法音寺に連なる私達が原点回歸する大切な日。特集記事を読むと、参詣された皆さんが、三先師・日達上人に思いを馳せ、三徳実行の誓いを新たにされた様子がうかがわれます。

今月号の『朝のこない夜はない』で、山首上人さまは「自らの中にある熱と誠が、人の心に火を点す」とご教示くださいました。改めて、三徳実行に対する姿勢が問われたような気がします。日々の生活の中で私の背中はその心に火を点すほど良い影響を与えているだろうか。自分の中の熱と誠を見直さなければと思いました。

また、付属高校の生徒さん達から何とも素直で純粹な感想文をいただき、心が洗われるような思いがしました。御開山上人の熱と誠、そして山首上人さまのお言葉が、若い生徒さん達の心に沁み入っていったことがよく伝わってきます。やはり教えを受ける側は、素直が一番なのだということも教えてもらったような気がします。

### お詫びと訂正

6月号掲載『のりのね体験いま昔』の堅田信子さんの所属に誤りがありました。正しくは岐阜支院です。関係者の皆さまにご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

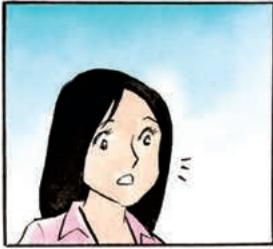


# けんめい い 懸命に生きる

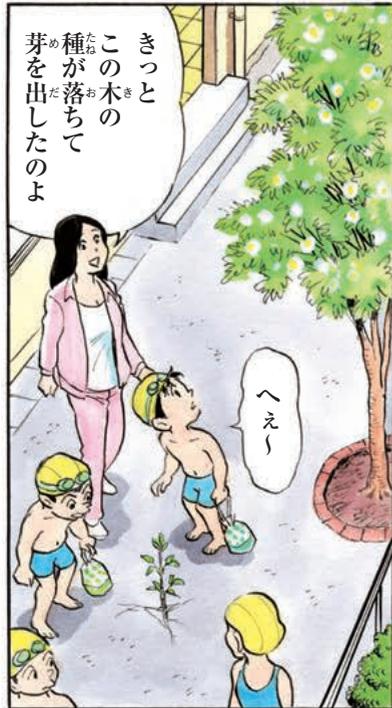
竹中 淳







まあ  
きれい…











だって  
暑い日が続いて  
雨が降らなければ  
枯れちゃうし

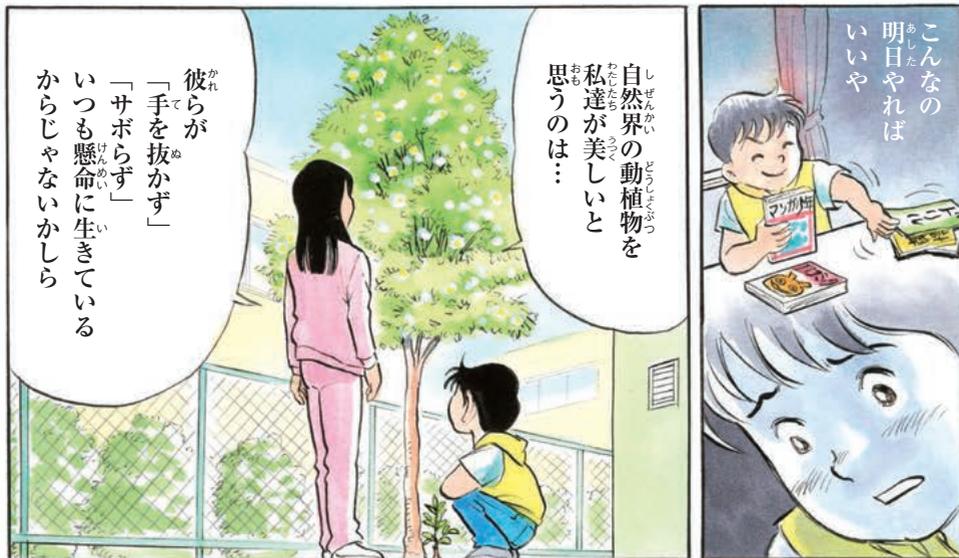
ひ  
日があたらなければ  
育たない

そんな死と  
となり合わせて 毎日  
懸命に生きているのよ



私達はよく  
「まあ今日一日くらい  
いいか!」って  
手を抜いたり  
サボったりするけど

そんなことを  
草木がしたら  
枯れて死んじゃう  
からね



自然界の動植物を  
私達が美しく  
思うのは…

彼らが  
「手を抜かず」  
「サボらず」  
いつも懸命に生きている  
からじゃないかしら



こんなの  
明日やれば  
いいや



おしまい

# 書籍のご紹介

法音寺を  
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラゝ

定価各巻一、〇〇〇円(税別)

法音寺の教えを  
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三四五頁

定価一、〇〇〇円(税込)



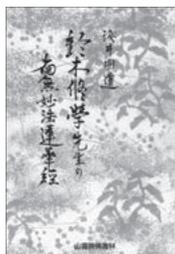
続現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三五二頁

定価一、〇〇〇円(税込)

仏教を  
学びたい方へ



鈴木修学先生の  
南無妙法蓮華經

浅井圓道著

山喜房佛書林刊

四六判/二百二頁

定価一、八一四円(税込)



妙法蓮華經略義

鈴木修学著

青山書院刊

A5版/八六三頁

定価六、〇〇〇円(税込)

福祉を  
学びたい方へ



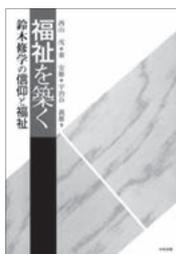
日本の福祉を築いた  
お坊さん

星野貞一郎著

中央法規出版刊

A6版/一六八頁

定価八六四円(税込)



福祉を築く

西山茂・秦安雄

宇治谷義雄著

中央法規出版刊

A5版/二二三頁

定価三、六二八円(税込)



# 知恩報恩

「ありがとう」と言う私から  
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂  
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市長和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

### SNSでつながる法音寺

法音寺公式 **facebook** で

毎朝7時『一日一言』配信中!!

こちらのQRコードから  
ご覧いただけます。



毎週火曜日**法音寺メールマガジン**配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、人にやさしく生きていくための  
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから  
メールマガジン登録フォーム  
をご覧いただけます。



**YouTube** にて**法音寺チャンネル**開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjimovie>

こちらのQRコードから  
法音寺紹介動画を  
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

### 法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

#### 社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 自立援助ホーム
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10  
TEL (052) 831-5171  
https://www.syoutokukai.or.jp



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

#### 学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6  
TEL (0569) 87-2211  
http://www.n-fukushi.ac.jp

